

競技上の注意等

- 1 2024年度日本陸上競技連盟規則に準ずるが、児童（小学生）である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。なお、2020年度に改正し更新されているシューズ規則に関するルール（第143条・競技用靴）の適用外とする。
- 2 招集集合時刻に招集所にて、アスリートビブスのチェックを受ける。招集完了後、競技場所に移動する。遅れた場合は棄権とみなす。リレーに出場するチームは、招集所に掲示されている用紙（ ）の中に必ずオーダー（走者順）を記入する。
- 3 トラック競技出場者（リレー第4走者）は、招集所で茨城陸協指定の腰ナンバーカードを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方につける。競技終了後、ゴール地点で返却する。
- 4 履物は運動靴とし、素足での競技は禁止する。
スパイクシューズ（ピンの長さは9mm以下）の使用は、1000m以外の種目で4年生以上とする。
- 5 スタートの合図は、1～3年生はジャパニーズコールとする。4～6年生はイングリッシュコールとする。なお、4年生から6年生の短距離種目はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
スターティングブロックとバトンは、競技場の備え付けのものを使用する。
- 6 80mHは、スタートから1台目までの距離13m、ハードルの間は7mで台数は9台、高さ70cmとする。
- 7 リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mである。ゾーンの中でスタートしなければならない。この規則に違反したときは失格とする。マーカー（最大5cm×40cmの粘着テープ1ヶ所のみ）を使用したチームは、前の走者が必ず取り除くこと。なお、マーカーは各チームで準備する。リレーのオーダーは、自由に組むことができる。
- 8 走高跳は、危険防止のためマットへの着地は足裏からとし、背や腰等から着地するような跳躍は無効試技（×）とする。
※バーの上げ方は、次の通りとする。
1m00 - 1m05 - 1m10 - 1m15 - 1m18・・・以降3cmずつ上げる。
- 9 ジャベリックボール投は、やり投の規則に準ずる。ただし、助走は15m以内とする。ジャベリックボールを使用し、オーバーハンドスローで投げる。※羽だけ持って投げることは禁止する。
- 10 試技は、ジャベリックボール投：3回、走幅跳：3回、走高跳：同じ高さ3回までとする。
- 11 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については以下の事項を禁止する。
 - ・保護者及び本人の同意のない撮影。
 - ・主催者より許可された報道機関以外の競技場内での撮影。
 - ・撮影を禁止された区域での撮影。カメラ等を使用し競技の様子を撮影する場合は、競技に差し支えない様に競技者への十分な配慮をお願いします。（※プライベートの写真や動画などを無断で世間に公開されてしまうことは、プライバシー権の侵害に該当する場合があります。）撮影した動画の確認を求めますのでご了承ください。
※防犯のため、定期的に警察官の巡回があります。
- 12 ご家族・指導者の応援はスタンドからお願いします。競技に支障をきたしますので、競技場内には絶対に入らないでください。また、スタンド等にゴミを散らかさないようご注意ください。ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。
- 13 団体から必ず審判委員1名協力してください。